

# 櫻守の会

2021年9月号

2021年9月1日(通巻268号)  
発行：櫻守の会代表 近藤 茂  
〒665-0485 宝塚市栄3-4-10-505  
会員数 108名(8月25日現在)  
HP：<https://www.sakuramori.net/>

## 新型コロナウイルス感染拡大の中で

加賀野久生

7月12日兵庫県に対するまん延防止等重点措置が解除され、3か月振りに活動を再開しました。しかし東京、沖縄への緊急事態宣言は継続され、7月23日からは東京オリンピックも開催されるなか、人口が集中する大都市ではデルタ株を主とした新型コロナウイルス感染が急拡大を続け、7月30日には8月2日からの東京等6都府県に緊急事態宣言の継続と追加、並びに兵庫県等5道府県にもまん延防止等重点措置が発せられました。

感染対策として7月で65歳以上の高齢者へのワクチン接種は終了し、13～65歳までの若年～中年層への接種も政府は8月末、関係者予測では9～11月には終える目標で進んでいます。欧米等のメーカーの供給量に不安があります。しかし、12歳以下は対象外で理由等はほとんど報道されていません。

海外に見てみると米英等の所謂高所得国で既に高接種率を達成していますが、東南アジア等の低所得国ではワクチン供給不足等により低接種率に止まりその格差が大きくなっています。最近になって漸く米英や中国等から余ったワクチンの寄贈が始まっています。当初はWHO(世界保健機構)傘下の「COVAXファシリティー」を中心に世界中に平等に提供しようということになっていましたが、いざ始まってみると高所得国が自国内の長引く感染拡大対策への不満・批判を抑えようと買い占めてしまいました。日本も漸くワクチン開発体制の見直しを始めていますが、WHOを中心にして各国が協同分業して開発を進めることも一案ではないでしょうか。

ワクチン接種の効果はウイルスが体内に入り細胞に侵入する時に使う『スパイク蛋白質』を認識してくっ付き、細胞への侵入の邪魔する中和抗体を効率よく作ることにあり、入って来たウイルスを壊滅させるものではありません。更に最近の研究によって、口内の細胞が気付かぬうちに感染し唾液をのみこんで気管や肺などにウイルスが侵入したり、他人に飛散させたりする「培養装置」になっていることも判ってきました。従ってワクチン接種が済んだ人もウイルス流行中は、自分は大丈夫と過信することなくマスク、手洗い・うがい等の感染予防対策を励行し、周りの人達への感染媒体にならぬようすることが必要とされています。

本日(8/17)のTVで、医療関係者の“12歳以下の児童に対するワクチン接種”に関する見解等が報道されていました。一日も早く適切な対応がされることが望まれます。



8月 桜の園の朱色の花

### \*\*\*\*\* 目次 \*\*\*\*\*

- P1 序文：新型コロナウイルス感染拡大の中で
- P2 2021年7～8月度活動実績表、活動報告：桜の園
- P3～4 活動報告：青葉台、ゆずり葉の森、武庫山の森
- P4～5 お知らせ・案内：運営委員会報告、活動地幹事の見直し、桜の園ヤマザクラ倒木の原因  
秋の自然観察会、会員消息、武庫川エコハイク
- P6～7 櫻守ひろば：亦楽山荘桜紀行、活動予定(9月・10月)

< 2021年8月度 活動実績表 >

月日	活動地・参加者 ( )内は会員外	天候	作業内容	人数
7月24日 (土)	桜の園 (亦楽山荘) 20名	晴れ	(桜坂の下部～中部) 刈払い機、手刈りによる草刈り	16
			(モミジの道) 土留めネットの補強	3
			(親水広場) 周辺の除草他	1
7月28日 (水)	青葉台 17名	晴れ/ 曇り	(陽光広場) 広場、小林南堰堤下平、堰堤上面の草刈り	9
			(陽光広場園路下、光が丘ルート) 枯れ松、桜、コナラの伐採	8
8月1日 (日)	武庫山の森 23名(1)	晴れ	(入口広場) 倉庫裏、休憩場所周辺の草刈り	9
			(正面入り口) 東側フェンス沿い草刈りの続き	7
			(育苗地広場) 広場と園路周辺の草刈り	7
8月6日 (金)	桜の園 (亦楽山荘) 16名	曇り	(桜坂の上部) 刈払い機、手刈りによる草刈り	5
			(育樹の丘周辺) 刈払い機、手刈りによる草刈り	8
			(親水広場) 草刈り、階段清掃他	3
8月11日 (水)	ゆずり葉の森 15名	晴のち 曇り	(県宝谷平、コバノミツバツツジの丘への坂道) 刈払い機、鎌、立ち鋏での草刈り	6
			(モチツツジの谷) 園路両脇の草刈り、奥部階段頭上の掛り木の処理	5
			(腕白原っぱ、コバノミツバツツジの丘、ゆずり葉ピーク) 植栽の手入れ、草刈り	4
8月14日 (土)	桜の園 (亦楽山荘)	雨	雨天中止	
8月17日 (火)	山手台	雨	雨天中止	
			延べ参加者数	91

< 活動報告 >

**桜の園 (亦楽山荘)**

7/24 昨日のオリンピックの開会式が遅くまでなった影響で、寝不足気味のメンバーが集合しました。モミジの道では、設置したプラネットと斜面の間に、プラ製薄シート(0.4mm厚×15cm幅)を挿入して、プラネットの網目から細かい土砂がはみだすことを防止できるように改めました。

残りのメンバー全員で、4台の刈払い機を駆使して、桜坂の水平道からエドヒガン5姉妹桜斜面までフェンス際他の手狩りを含め草刈りを実施しました。日差しが強く大変厳しい作業であり、熱中症防止の観点から1時間早く作業を終了しました。

8/6 再度、まん延防止等重点措置が発令され、また暑さも引き続き厳しく、熱中症に気を付け作業しました。前回の継続作業としての、エドヒガン5姉妹から手刈りも含め刈払い機2台を使い、桜坂上部まで草刈りを行いました。これでほぼ、刈払い機での草刈りは終了です。

また別動隊は、東屋横の育樹の丘を中心に、刈払い機2台を使用し手刈りを含め除草を行いました。さらに親水広場周辺の草刈りと清掃できれいにしていただきました。(濱野 記)

## 桜坂周辺の作業風景



土留めプラネットの補修作業



育樹の丘の草刈り作業

## 青葉台

7/28 前回(3/26)以来 4 か月振りの活動で、活動地は新緑も過ぎ雑草や笹等が背高く繁茂していました。梅雨明け前の蒸し暑い一日となり、大汗をかきながらの作業となりました。陽光広場とその周辺の草刈りと青葉台口入口園路脇や光が丘ルートに散在する枯れ松、桜、コナラの伐採も併せて実施しました。

(加賀野 記)



陽光広場屋上辺の草刈り



入口園路脇急斜面へ落とさないよう慎重にロープ掛け

## ゆずり葉の森

8/11 当地での活動は前回(4/12)以来 4 か月振りの作業で、下の写真に見られるように草木が背高に繁茂していました。そこで三班に分かれ、コバノミツバツツジの丘、県宝谷平、モチツツジの谷付近の草刈りを行うとともに園路頭上等に掛かって危険な、または樹木の成長を阻害している倒木と落下枝の処理も行いました。この日は曇りがちで暑さは覚悟したほどではなかったが、湿度が高く汗ビショリとなりメンバーの疲労を考慮し午前中で作業を終えました。作業や通行を阻害し、景観上も見苦しい程の雑草・灌木は広範囲に亘り、次回以降も草刈中心の作業が続くと考えています。

(加賀野 記)



県宝谷平・2台の刈払い機で草刈



モチツツジの谷・西山堰堤直上  
園路脇の草刈



モチツツジの谷奥部階段  
頭上に掛かる倒木の処理

## 武庫山の森

8/1 真夏の厳しい蒸し暑さの中、全員で草刈りを実施しました。前回の継続で入口広場周辺と集合場所周辺、正面入り口周辺のフェンス沿いの草を刈りました。新しい場所としては育苗地広場からビオトープまで刈払機を使い草を刈りました。手刈り作業では階段と塩谷ルート入口の園路上の草を刈って園路を確保しました。今回も暑さを考慮して作業は午前中で終わっております。

(横山 記)

育苗地の草刈り



## < お知らせ・案内 >

### 緊急事態宣言の間、活動を休止します

運営委員会

運営委員会では「兵庫県に緊急事態宣言が発出されている期間の里山整備活動を休止する」と決めており、8月20日より休止に入っています。再開は緊急事態宣言が解除された日からになりますが、改めて皆様にご連絡いたします。

## 運営委員会報告 (7月度)

代表 近藤 茂

2021年7月31日(土) 10:00~12:00 ぷらざこむ1

1. 新型コロナウイルス対応・・・6月度の運営委員会で、緊急事態宣言が発出されない時は櫻守の会の活動を行うことに決めた。8月2日に兵庫県にまん延防止等重点措置が適用されることになったが、上記の決定に従い活動を継続することを確認した(但し緊急事態宣言が発出され8月20日より活動休止になった。)
2. 桜の園・桜坂のヤマザクラ倒木・・・特別作業を2回行って倒木の処理を行った(会報8月号で報告済み)倒れた原因に疑問を感じたので、宝塚市公園河川課に原因調査を依頼し、樹木医による診断結果を得たこの下の記事を読んでください。
3. 秋の環境学習・・・10月中旬から11月中旬に行う予定であり、各小学校に連絡して具体案の検討に入った。
4. 活動内容の見直し&会員の増加を目指す検討・・・各活動地のあるべき姿(ビジョン)を含めて討議した様々な意見が出て次回以降引き続き検討することになった。

## 各活動地幹事の見直し

運営委員会

毎年春に各活動地の幹事の見直しを行っています。今年はコロナ感染の拡大で4月以後活動を休止していたので検討できませんでしたが、7月より活動を再開しましたので下記の通り見直しました。幹事の皆さん、よろしくお願いいたします。(敬称略、先頭の◎の方がその地区の代表幹事です。)

桜の園(亦楽山荘) : ◎濱野、加賀野、坂田、清水、瀧本  
山手台 : ◎岡、大形、岸本、近藤秀幸、武原、平松  
青葉台 : ◎加賀野、近藤茂、坂田、長谷川、濱野、山岡  
ゆずり葉の森 : ◎加賀野、近藤茂、坂田、長谷川、濱野  
武庫山の森 : ◎横山、坂田、土井弘行、吉田

## 桜の園・桜坂のヤマザクラが倒れた原因について

運営委員会

6月25日にハイカーの方より「桜坂で大きなヤマザクラが倒れていて通路を塞いでいる」との連絡がありました。この倒れたヤマザクラは桜の園では7番目の巨木（胸高直径56cm・樹高約20m）であり、根元部の組織が死んでおり、写真の様に根元より折れていました。当会としては緊急措置として倒木の撤去作業を実施しましたが、来園者の多い桜坂で風が吹いていないにも拘わらず何が原因で倒れたのか、また他のサクラは大丈夫なのかに疑問を感じたので、宝塚市公園河川課に調査を依頼しました。そして後日樹木医の金岡氏より下記の調査結果をいただきました。

1. 倒れたヤマザクラは根元部1m位が腐っていたが、上方部は正常であった。桜坂のヤマザクラは谷側に傾いており、転倒モーメントに耐えられなくて倒れた。
2. この木の樹齢は80歳位、ヤマザクラの寿命は200歳以上あるので、寿命で枯れたのではない。
3. 20年～30年前に根元部を痛めてその時に菌が入り、徐々に腐食が進んだものと推定する。
4. 桜坂の他の木についても調査したが、「全て健全で問題ない」と判定した。

※このヤマザクラは笹部新太郎氏が昭和10年（1935年）頃に植樹したものであり、樹齢はピッタリ合います。そして桜の園の開園前（約25年前）に東屋を作るために重機を入れた時に根を傷つけたとすると、これもピッタリ合います。金岡氏は「桜の園の歴史は知りません」と言っておられましたが、非常に納得できる診断であり、さすが樹木医の先生であると思いました。

※「桜坂のその他のヤマザクラは健全」との診断をいただき、ホッとしました。また根を痛めないことの重要性を改めて知ることになりました。



倒れたヤマザクラ：根元1m位が腐食していた

## 秋の自然観察会

竹島洋子

秋の自然観察会を亦楽山荘周辺で実施します。

- ・日時 2021年9月28日（火） 9：30から12：00
- ・集合場所 廃線跡入り口 トイレ前
- ・行く先 廃線跡と亦楽山荘
- ・ルート 廃線跡～第三トンネル手前～親水広場～もみじの道～城ヶ丘～隔水亭～東屋～さくらの道～親水広場
- ・解散 12：00頃

## 会員消息

事務局

会員の異動はありませんでした。

## 武庫川エコハイク

エコグループ・武庫川

9月度の活動は兵庫県に緊急事態宣言発出中のため中止します。

## < 櫻守ひろば >

### 亦楽山荘 桜紀行（5－最終回）桜の風景

陰山 隆太郎

ヤマザクラが咲きそろそろ頃を見計らって桜に彩られた山の景色を眺めに行きましょう。武田尾駅の改札を出ると散り始めの染井吉野が、バス道の水道管を過ぎると満開のヤマザクラが出迎えてくれます。この道路沿いに植えられたヤマザクラは、近づけば花一輪や花序ひとつが観察できるし、少し離れると桜一本をまるまる眺めることができる見本のような桜で、山のヤマザクラの咲き具合を知る目安にもなります。

温泉橋を過ぎて川沿いの新道を進むと正面にヤマザクラが密に咲いている急な斜面が見えてきます。

**写真A**；「桜の園」か？と思いきや尾根ひとつ手前の山のように、廃線跡入口に近づくと山壁に遮られて見え難くなりますが、温泉橋を渡り対岸に回り込むとこの斜面を正面から眺められます。**写真B**；斜面の上部に勝手気ままに咲いているのが自生のヤマザクラで、下の方に行儀よく並んでいるのが廃線跡(トンネル間)の植えられた桜です。武田尾周辺では一番見栄えのする桜の景色で、櫻守の会も「桜の園」のパンフレットのトップページにこの景色の写真を使っています(隣の山なのに断りもせずに)。



「桜の園」は地形的に外界から見えにくい深山幽谷？ですが、廃線跡入口の橋の上からはその一部が見えます。**写真C**；武庫川右岸の尾根と左岸の尾根の針葉樹の植林帯で区切られたV字形の上の方が桜の園の領域で、中央の桜は桜坂上のエドヒガン、その右下に少し頭を出しているのが桜坂のヤマザクラです。山の部分はアクラ山の北斜面で左上につつじヶ丘展望所が、右のピークの下方に赤松道の3～6合目と5合目のビューポイントのベンチ(遠眼鏡が要りますが)が見えます。

廃線跡の展望広場からも「桜の園」の北西隅の山桜の名所である桜坂が見渡せます。峡谷の谷底にしては視界が広く、対岸の斜面に点在するヤマザクラやカスミザクラも鑑賞できる眺めの良い場所です。

外からは一部しか見えないので、園内に入り高みに登って眺めの良い場所を探してみましょう。



城が丘から急登10分で赤松道ビューポイントに着きます。**写真D**；元は桜坂を見下ろすために拓いた展望スポットでしたが、今は視界を塞ぐ木々が伐採されて、谷向こうの桜坂から桜の尾根植樹地・東屋周辺・林間広場付近・大峰道上部までが見渡せる絶好のビューポイントになっています(休憩ベンチもあります)。

つつじヶ丘展望所は園内の谷の南側の最高点(園内最高点でもある)で、北西方向に広く展望が開ける園内

随一のビューポイントです。遙か播州の山々が眺められますが桜の咲く山の景色は遠すぎて余り見えません。代りに すぐ近くに自生のヤマザクラやカスミザクラが沢山育っていて花を咲かせ始めています。

園内の谷の北側の最高点である四辻の近くには、自生の山桜が多く育っている「つつじヶ丘展望所-赤松休憩所-赤松道上部」の尾根筋が一望できるビューポイントがあります。つつじヶ丘展望所は緑一色の時期には何処が丘やらさっぱり分りませんが、桜が咲く頃には丘の形が出現します。**写真 E**；自生のヤマザクラは未だ花付きが不十分なので若葉の色が勝って赤っぽく見えます、その間の草地の奥が展望所になります。

大峰道上部の索道跡の裸地付近で、城ヶ丘周辺の森の中に点在する桜を俯瞰できる場所を見つけました。**写真 F**；しかし、視界が狭いうえ桜が思ったより少なく、ビューポイントとしては落第かもしれません。

桜の尾根植樹地の展望ベンチは広く視界が開け武庫川溪谷が見下ろせる お気に入りのビューポイントですが、園内の桜は余り見えません。又、将来 植えた桜が成長すると残念ながら視界が塞がれてしまいます。  
-亦楽山荘桜紀行- は今回で終了します。桜の季節に「桜の園」に行く気になってもらえれば幸いです。

終わり

## ＜ 活動予定（9月・10月） ＞

### 月別行事予定表

9月		場所等	10月		場所等
<del>9月1日</del>	<del>水</del>	<del>桜の園(亦楽山荘)</del>	10月3日	日	武庫山の森
<del>9月5日</del>	<del>日</del>	<del>武庫山の森</del>	10月6日	水	ゆずり葉の森
<del>9月9日</del>	<del>木</del>	<del>桜の園(亦楽山荘)</del>	10月13日	水	桜の園(亦楽山荘)
9月13日	月	ゆずり葉の森	10月16日	土	武庫山の森
9月18日	土	武庫山の森	10月19日	火	山手台
9月21日	火	山手台	10月21日	木	廃線跡草刈り
9月24日	金	青葉台	10月23日	土	桜の園(亦楽山荘)
9月25日	土	会報印刷(ふらざこむ)	10月26日	火	青葉台
9月26日	日	桜の園(亦楽山荘)	10月29日	金	桜の園(亦楽山荘)
9月28日	火	自然観察会(亦楽山荘)	10月30日	土	会報印刷

※ ~~——~~ 取り消しは緊急事態宣言の動向によって変わります。

集合時間：桜の園(亦楽山荘) 親水広場 9時50分、武庫山の森 9時50分、他の3活動地は9時30分。

天 候：当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

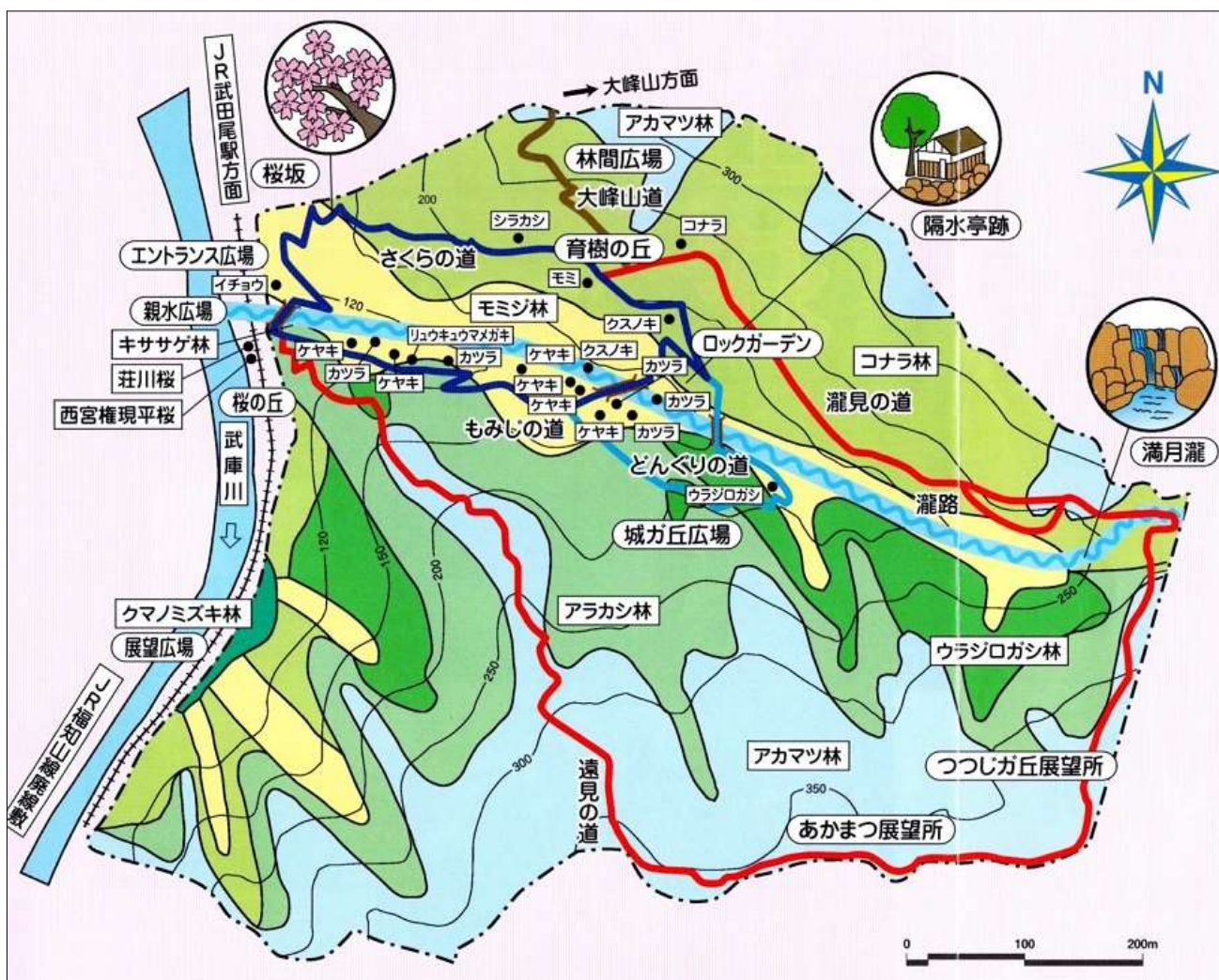
**<編集後記>** ここまで自粛が長引くと2年ほど前までの日常生活はどうだったかと忘れてしまいそうになります。昨年、亦楽桜坂登り口でカツラの大木横の階段脇と JR 中山踏切付近の道端で咲いていたスマレを一株ずつ持ち帰りベランダに鉢植えしておきました。前者は「タチツボスマレ」で後者が「スマレ」です。この春、りっぱに咲いてくれました。しかも山や道端で見た時の2倍くらい大きな葉っぱに茂ってきました。花の時期を過ぎても枯れません。そのうえ花もないのに繰り返し種が生まれて増殖し続けています。可憐で繊細なイメージを持っていたのに……。ステイホームのおかげ？でこんな観察ができました。ちなみに、宝塚市花のスマレは多種多様な種の中、後者のスマレ(ヴィオラマンジェリカ)のことを言います。

※「亦楽山荘桜紀行」の連載ありがとうございました。 <櫻守ひろば>へ皆様のいろいろな思いや出来事の寄稿をお待ちしています。 (山岡 記)

## 桜の園 園路の名前「どんぐりの道」の由来

桜の園の園路には、いろいろな名前が付けられています。さくらの道、もみじの道、滝見の道、遠見の道、大峰山道、赤松道は概ね意味が理解できますが、どんぐりの道（起点：もみじの道の突き当り～城ヶ丘～木橋～隔水亭～終点：東屋）が、「どんぐりの木が無いのにどうしてこんな名前が付いているのか？」と言った疑問を良く聞きます。

下の地図は 1999 年桜の園が開園した時に、(多分) 社団法人：兵庫県森と緑の公社が作成した地図で、樹相と園路名が書かれています。この地図はエントランス広場と隔水亭前の旧園内案内板、及び 2013 年までの当会のパンフレットに使われていました。よく見ると、どんぐりの道は、アラカシ林・ウラジロガシ林・コナラ林のエリアを通っていることが分かります。だからどんぐりの道と名前を付けたのでしょう。



2014 年に会員の方より「実際の樹相と地図上の樹相が合っていないような気がする」との疑問の声があがり、以後この地図は使われなくなりました。

(さくら守太郎さん提供)